

圧倒的な少子化の中での今後の三條市教育のあり方について

質問 学区の弾力的運用を子ども安全確保の観点からどのように考えるか。

答弁 学区外就学の周知は学校で実情に即して適切にアドバイスしている。学区全体を見直すにはさまざまな課題があると認識している。

質問 少子化により空いていくだろうと思われる教室、施設の有効活用について。

答弁 空き施設は有効活用する。たとえば、特別支援教育の地域のセンター的機能を持った教室の設置や高齢者と子どもたちとの交流拠点である。関係機関と協議していく。また、児童相談所については三條地域振興局管内に独立して設置することを検討して県にお話をしている。タイミングにしっかりとある。



児童数111人の三條小学校

常任委員会審査報告

総務文教常任委員会

森山 昭 委員長

議第4号三條市立児童館条例の一部改正及び議第5号三條市児童クラブ条例の一部改正では、児童クラブをすべての小学校区で実施していくことについて、今後の子ども数の推移を見ながら検討していきたい。また、児童クラブに入会していない子どもたちの居場所の確保も課題であり、今後も検討していきたいこととした。廃止する児童館の跡地利用については、地元の要望を聞きながら市有財産利活用検討委員会で検討することとした。

次に、議第15号土地の処分では、売却の経緯について、以前より地元から児童館や社会福祉施設の用地にどの要望があったが、市としては社会福祉施設関係の建設予定がなく、公募による売却を進めている中で社会福祉法人から第5期介護保険事業計画における特別養護老人ホーム用地に話が合ったこととした。

次に、議第16号平成24年度三條市一般会計補正予算では、老朽化した学校の計画的な建て替えについて、少子化や施設の老朽化を踏まえた方向感を持った計画は持ち合わせていない。今は耐震の2次診断の結果が大きな要素と判断させていただいており、2次診断がすべて終わる26年度にその結果を踏まえ、緊急性、優先度を考えた中で、計画を示させていただくことになることとした。



平成23年度政務調査費収支報告

政務調査費は、地方議会議員の市政等に関する調査研究に資するための必要な経費の一部として、会派または議員に対し交付する金銭的給付です。本市では、市議会における会派に対して、議員一人当たり月額3万円を年度当初に12カ月分を一括で交付しています。この支出に当たっては使途基準に従って行われ、使途の透明性を図るため、支出したもののすべての領収書の提出が必要となっています。具体的な使途は、会派で行う行政視察や研修会参加の旅費、図書の購入、議員控室のパソコンリース代など市政に関する調査研究を目的としたものに支出されています。

(単位:円)

会派名	収入 ※1	支出内訳							支出合計	返還金 ※4
		研修費	会議費	旅費	資料費	使用料	通信費	その他 経費		
自由クラブ (10名)	3,420,000	100,000	0	2,094,340	0	63,000	1,680	42,845	2,301,865	1,118,461
新政クラブ (4名)	1,620,000	71,000	0	900,890	284,515	192,917	7,560	66,882	1,523,764	96,401
新しい風 (4名)	1,440,000	271,000	0	732,500	9,450	0	2,100	28,192	1,043,242	396,899
清流 (3名)	1,080,000	25,000	0	602,410	33,600	0	840	12,750	674,600	405,526
日本共産党 議員団 (2名)	720,000	26,000	0	165,000	216,470	0	630	9,678	417,778	302,298
公明党 議員団 (2名)	720,000	20,000	0	8,220	82,664	68,040	1,800	23,366	204,090	515,995
無所属 (西川哲司議員) ※2	180,000	5,000	0	45,120	37,060	0	0	3,830	91,010	89,011
無所属 (佐藤宗司議員) ※3	180,000	63,100	0	69,700	8,700	28,560	945	7,393	178,398	1,608
計 (26名)	9,360,000	581,100	0	4,618,180	672,459	352,517	15,555	194,936	6,434,747	2,926,199

※1 交付額は1人あたり月額30,000円です。
H23.9会派人数変更(自由クラブ:9人→10人 新政クラブ:5人→4人)
※2 西川哲司議員はH23.9.7に新政クラブへ入会したため、H23.4~H23.9までの収支になります。
※3 佐藤宗司議員はH23.9.7に無所属になったため、H23.10~H24.3までの収支になります。
※4 返還金は収入から支出合計を差し引いたものに利息を足した額になります。

市民福祉常任委員会

野崎正志 委員長

議第14号三條市ごみ処理施設解体撤去工事請負契約の締結について、低価格入札だが市民への安心度は、発注の仕様書においてダイオキシン、アスベストの対策を示しており、入札業者もしっかりと把握している。適切な工事が執行されるものと考えていることとした。

次に、議第16号平成24年度三條市一般会計補正予算では、4款衛生費の災害廃棄物に関する件について、安全とする考えに対する対策の必要性は、100ベクレルパーキログラムは食品の基準と同じなので安全であるが、これは安心とは違うわけで、安心のために吸着ネットは必ず敷いたほうがいいという放射能技術アドバイザーからのアドバイスの中でさせていただいた。不安払拭のために対応をさせていただくものであることとした。

関連する最終処分場の工期は、7月の下旬から工事に着手することを想定しており、8月末までには完成をさせていければと考えていることとした。また、受け入れの判断は、地元自治会から現地の現状を見ていただくことも必要であり、それらを踏まえて、試験焼却のデータを見た中で最終的な判断がなされることとした。

また、4款衛生費の火葬場補修工事について、低価格で落札された施設工事の品質は、仕様書に基づき工事を完了検査も受けている。特に問題はない、補修工事では基本的に消耗の要素があるので随時必要であることとした。



経済建設常任委員会

武石栄一 委員長

議第16号平成24年度三條市一般会計補正予算では、まちづくり推進費について、コミュニティ助成事業の不採択理由は、申請はすべて基準を満たしているが、補助金額に対して申請額が超過していると県の方で優先順位を付け、割り振りを行っていることとした。

また、農業担い手確保育成事業費の経営体育成支援事業補助金について、事業内容は笹だんごの加工販売の事業拡大を行い、笹だんごのほかにプリンやシフォンケーキなども販売し、そこで食べる事ができるようにするものであることとした。採算性は、今回の事業者が北陸農政局が募集した6次産業化のモデルケースに認定されており、今後の事業展開について検討されていること、東京の大手デパートや新潟駅構内など既に販路を有していることから、ある程度の事業採算性も担保されていることとした。

また、公園施設管理費について、中浦ヒメサユリ森林公園の遊具の修繕は夏休みまでに完成したい。しらすぎ森林公園のローラースライダーは、花菖蒲まつりの開催までに既決予算で対応したこととした。木製の遊具やベンチ、防護柵などの更新年数は、承知はしていないが、計画的な整備はしなければならないと思っていることとした。

